

広報

第977号

# いながわ

1月

令和3年  
(2021年)



明けましておめでとうございます!今年は<sup>うし</sup>丑年だモ〜♪(紫合)

## 特集 読書のチカラ。

- 新年のご挨拶 ○ 8
- 新型コロナ関連情報 ○ 12
- 瞬(ときめき) 奥芝 正雄 さん ○ 25
- ガイドのオススメ★
- 笹尾・春日神社と十日えびす ○ 26
- いながわ特派員報告
- かんたん申し込みでマイナポイントGET! ○ 28



「難を転じる」ナンテンといなぼう(下阿古谷)

# 読書のチカラ。



コロナ禍で迎えた新年、皆さんいかがお過ごしでしょうか。外出自粛にご協力いただいていることなどから、おうち時間が増え、多くの人は日々の過ごし方が変化してきています。この機会に「本」を手にとってみませんか？  
今号では、本を読むことの大切さや、その魅力などを紹介します。

## 進む活字離れ

近年、パソコンやスマートフォンなどで、いつでもどこでも情報を得ることができたり、動画や音楽などの様々なコンテンツを気軽に楽しむことができるようになりました。

その一方で、本や新聞などを読む機会が減り「活字離れ」が進む一因にもなっています。インターネットとはまた違う、本などを読むことの良さは、どのようなものでしょうか。

## 読書の魅力

本には、映像や音楽がありません。でも、その向こう側には無限のイメージの世界が広がっています。

読書をするにより、文字や絵から想像を膨らませたり、様々な視点で考える力が養われ「他人を思いやる気持ち」や「読解力」、「大切なことを見抜く力」が育つといわれています。特に幼い頃から本に触れることは、心を豊かに育むことに繋がると考えられています。

## 読書のきっかけ

本町では、子どもから大人まですべての世代が読書の魅力や楽しさを知り、暮らしの中で自然と本を手にする機会を増やして欲しいという想いから、町立図書館（以下、図書館）や学校図書館の整備、図書館サービスの充実、読書教育にも力を入れています。

また、図書館を中心にボランティアの人たちや学校とも連携しながら、さまざまな形で多くの人が楽しみながら本に親しむ「きっかけづくり」に取り組んでいます。

# 読書大好き!! みんなのオススメ

妹と色々な本のお話を  
するのが楽しいっ!



目標はお姉ちゃんより  
たくさん読むこと!

私は、不思議な世界をイ  
メージすることができ魔  
法の話が好きで、主人公  
になりきって楽しんで読ん  
でいます♪たくさん本を読  
んで、いろいろな人にオス  
メの本を紹介したいです。  
谷依音さん(9歳)

毎週図書館に通い、これ  
まで千冊以上は読んだと思  
います! 現実の世界ではあ  
りえないことも成立してし  
まう本の世界が好き。本  
の面白さを、たくさんの人  
に知ってもらいたいです。  
谷佳音さん(12歳)

## 長浜高校 水族館部!

令丈 ヒロ子/作 紀伊 カンナ/絵 講談社

日本で唯一の水族館部のお話です。特に注目して  
欲しいのは、はまちショー担当の直人君!  
多くの危機をどうやって乗り越えるのか、  
ドキドキしながら読んでください! 実は  
この、長浜高校は愛媛県に実在する学校  
なんです。一般公開日には学校が水族館  
に大変身。私も行ってみたいなあ♪



## ねこタクシー 御子神さんがやってきた!

山田 佳子・AMG出版工房/作 加藤 アカツキ/絵 集英社

タクシー運転手のお父さんが嫌いな、小学6年  
生のるりが主人公のお話です。ある日、  
お父さんが三毛猫の「御子神さん」を連  
れて帰ってきます。御子神さんとの出会  
いで、るりの生活がどう変わるのか注目  
して読んでみてください! 最後のペー  
ジにある、猫の写真も可愛いんですよ。



No Book,  
No Life!



バスケットボールも  
読書も大好き!

私にとって本は、人の  
「背骨」みたいなものです。  
なくなったら生きていけな  
いっ! ビブリオバトルで  
培った経験を活かして、世  
界中の人に読書の楽しさを  
届けていきたいです。  
川崎咲花さん(16歳)

本は、自分の知らない世  
界を教えてくれる、私に  
とってなくてはならない大  
切な存在です。読書から  
は、たくさん発見があり  
ます。まだまだ読み続け  
ていきたいですね!  
安藤 邦美さん(72歳)

## その犬の歩むところ

ボストン・テラン/著 田口 俊樹/訳 文春文庫

さまざまな人とパートナーになりながら、たく  
ましく生きる一匹の犬「ギブ」の物語  
です。人目線で描かれているにもかかわらず、犬の切ない気持ちや健気さ  
がありありと伝わってきます! 中・高  
生にも読みやすい本だと思いますの  
で、ぜひ手に取って読んでくださ  
いね。



## ミ・ト・ン

小川 糸/著 平澤 まりこ/絵 幻冬舎文庫

ラトビア共和国をモデルにした、優しく強い主  
人公マリカの生涯を描いた物語です。初  
めての海外旅行はラトビア共和国に決め  
た! と思えるほど、物語に引き込まれま  
した。彼女の編むミトンは、読む人の心  
まで暖かくしてくれます。挿絵も素敵  
でほっこり。冬にぴったりの1冊です!



# そうだ、 本を 借りに行こう。



## 本と人を繋ぐ

図書館は、ふれあい公園の四季  
折々の風景を感じながら本に囲ま  
れてゆっくりと過ごすことのでき  
る施設として、平成8年に開館し  
ました。

小説や児童書だけでなく、趣味  
や旅行に関する生活を楽しむ本、  
専門書や地域行政資料のような調  
べものに役立つ本など、実用的な  
ものから専門的なものまで、バラ  
エティに富んだ約35万冊の蔵書を  
揃えています。

また、生活の中でのちょっとした  
疑問や困りごとなど、解決の糸  
口になる本の紹介や読書案内な  
ど、司書が本を探すお手伝いもし  
ています。



## 生活スタイルにあわせて

移動図書館「イナくるっと号」  
は、図書館から離れた地域の住民  
の皆さんなどが「本の貸し出しや  
予約本の受け取り」などの図書館  
サービスを利用できるように、平  
成12年から運行を開始しました。  
町内10カ所のステーションに、約  
3800冊の本を運んでいます。  
また、日生中央センタービル内に  
ある「日生図書室」でも本の予約・  
貸し出しを行っています。

この他、インターネットでの予  
約サービスも行っていますので、  
それぞれの生活スタイルにあわせ  
てご利用いただけます。  
※移動図書館の運行日やインター  
ネット予約などについ  
ての詳細は、図書館ホ  
ムページ



## INTERVIEW

毎月1回の楽しみな時間です!

伏見台 岸本さんご夫婦



「イナくるっと号」が運行し  
ているのを知り、3年前から欠  
かさず利用しています。  
私たち夫婦の、本の好みを司  
書さんが覚えていて、毎月準備  
してくださっているんです。「今  
月はどんな本かな?」と楽しみ

に、2人で公園に足を運んでい  
ます。司書さんのお話もま  
た、楽しみのひとつです。古い  
本から新刊まで揃っていますし、  
キレイな状態の本が多くて、  
気持ちよく読むことができ  
るのも嬉しいですね。  
便利なサービスなのでたくさ  
んの人に知ってもらい、これか  
らイナくるっと号が活躍する  
ことを期待しています!



猪名川町立図書館  
森 百合 館長

## 読書の チカラで 心を豊かに

「本」との出会いには心を豊かにし、未知の知識を得ることができ、貴重な体験であり「楽しいこと」や「美しいと思うこと」など、いろんな感情を与えてくれます。空想の世界観に夢中になったり、先人たちの言葉に励まされた経験があるという人も多いのではないのでしょうか。

また、幼い頃の読み聞かせは情緒を育み、心や脳の発達を促す大事なコミュニケーションのひとつといわれています。それは、未来を担う子どもたちの「ひとつく

り」にも繋がっていきます。

このように読書には、人生を豊かにする力や多くの魅力が溢れているのです。

新しい年は、気持ちも新たに色々なことにチャレンジしやすい時期です。まずは、本を手取ることを意識してみるなど、自分なりの目標を立ててみませんか？図書館には、すべての世代が楽しめる多種多様な本を揃えていますので、ぜひ活用してみてください。素敵な本との出会いが待っているかもしれません。

▼問合せ 図書館 (☎76663238)

## 図書除菌機を 設置しています！



コロナ禍でも安心して本を借りることができるよう、図書館では除菌機を設置しています。紫外線で本の表紙や背表紙などの除菌を行い、送風で本の中のホコリなどを除去します。一度に6冊の本の除菌ができ、利用者の皆さんがいつでも自由に使うことができますので、ご利用ください。

## 本は大切に 扱きましょう！



共有財産である図書館の本を多くの人に読んでもらうため、返却時にページが破れていたり外れている場合などは、補修して書架に戻しています。

破損を見つけた場合は、自分で修理せずにそのままの状態職員へお知らせください。

借りた本は大切に扱い、次の人が気持ちよく手に取れるよう図書館マナーの向上にご協力ください。



## 読書の魅力を伝える人たち



図書館ボランティアの「ゆめっこ」、「ぐるんぱ」、「リブプロ」(いなわがわ図書館の会)をはじめ、町内の各小学校でも学校図書館と保護者・地域の人が連携し、読み聞かせなどを通して読書の魅力を伝えるための活動を行っています。各団体が様々な角度から、本と人を繋ぐ役割を担っています。

## ボランティアの力



### INTERVIEW

読書の大切さを伝えていきたい

図書ボランティア「ぼんぼん」  
代表 市原 未来さん (前列・右から2人目)

ぼんぼんは、つつじが丘小学校で活動を始めて今年で17年目を迎えます。

私たちの活動が、子どもたちの本を手取る「きっかけ」のひとつになれば、という想いで朝の読み聞かせや、人形劇などの公演を行っています。薄い本でも絵本でもいい、入り口はなんでもいいんです。本を手取ることが、本を好きになる初めの1歩だと思っています。

本を好きになるのは今でなくても、大きくなった時に「そういえば…」と読み聞かせの本が頭の片隅に残っていて、手に取るきっかけに繋がったら嬉しいですね。



### INTERVIEW

子どもの笑顔が見られる幸せな時間

図書ボランティア「ゆめっこ」  
代表 小川 淑子さん (右)

ゆめっこは、紙芝居やおはなし(語り)など5つのグループに分かれて活動をしています。

私たちが大切にしているのは、子どもたちのコミュニケーションです。質問を投げかけると、ハッとするような回答が返ってくるので、とても面白いんですよ。本に触れ、楽しい!と思える体験をすることで、子どもたちの心が育つお手伝いができればいいなと思っています。

コロナ禍で活動ができない状態が続いていますが、再開したらみなさんぜひ遊びにきてくださいね。子どもたちのキラキラした目が、私たちの元気の源です!